



●人権推進課 ☎ 84-1228

◆ 安心して暮らせるまちを目指して 人権啓発のぼり旗を作りました ◆

毎年7月から8月にかけて部落差別問題の早期解決を図るために、部落解放月間の啓発活動を行う部落解放月間や人権意識の高揚を図ることを目的に定められた人権週間など、さまざまな機会に人権の大切さを考えていたら、人権啓発のぼり旗を制作しました。

のぼり旗を通じて、お互いの人権を尊重する意識を広げ、安心して暮らせるまちの実現につなげていきます。



地域とともに進める人権啓発の取り組み

人権啓発センターは、福祉と人権のコミュニティセンターとして、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、生活相談や人権に関する学習機会の提供など、さまざまな取り組みを行っています。

各センターでは、身近な人権問題をテーマにした講座や、地域の皆さんと交流を深められる教室なども実施しています。「広報やす」のインフォメーションコーナーでも、各講座のご案内を掲載していますので、ぜひご覧ください。

また、地域の企業・団体と連携した取り組みや啓発活動にも力を入れています。今回はその一部をご紹介します。

◆ 人権啓発センターで 命を守る学び「踏切安全教室」開催 ◆

参加者は「大切な命を『防げる事故』で失いたくない。今回の経験を家族や友達にも伝えたい」と話し、学びを日常に生かそうとする気持ちの広がりも感じられました。



自分や周りの命を守るための学びの場として、11月15日(土)に隼福踏切で踏切安全教室を開催しました。

当日は、JR郡家駅、若桜鉄道株式会社、郡家警察署の職員から、自動車が踏切内で立ち往生したときの脱出方法や非常停止ボタンの操作を教わり、実際にボタンを押してみるなど実践を交えた講義を受けました。体験を通して踏切事故のリスクを身近に感じ、安全への意識を深める時間となりました。

八頭町人権教育推進協議会、学校教育部会で毎年作成している「つながる心」から、保育所の部として掲載している保育園児のつぶやきをご紹介します。

楽しみだなあ 四歳児

クラスに新入児が来る
当日の朝。

A 児 「なあ先生、新しい友だちいつ来るん?」

保育者 「もうすぐ来るとと思うよ。先生が玄関まで迎えに行つてくるね。」

A 児 「ぼくも行こうか?たくさんの人に『おはよう』って言つてもうつた方がいいと思うけど。」

A 児 「私も行く。どんな人かなあ。」「楽しみだなあ。早く来んかなあ。」その後保育者と一緒に玄関に迎えに行つた。

うれしいな 四歳児

A 児 「Aちゃんのお母さん、ギューッとしてくれるで。」「わたしのお母さんもだで。」「めっちゃうれしいでな。」「なあ、うれしいでな。」

人権作文集 つながる心 ～保育園児のつぶやき紹介～